

石城郡南の産蘭を二割増  
蠶組代表の邁進申合せ

### 石城郡南の産蘭を二割増

#### 蠶組代表の邁進申合せ

石城郡南の産蘭田は、十七萬八千八百五圓に達し、蠶組の盛んなところで、錦村及び川部村が其の中心をなして、近々高騰の高低常なきものと、近年までの下落から漸次衰微の傾向であつたところ、茲に三年來、糸價の好況と共に中心地が山田村方面に轉化して、蠶家の増加を見せる同地、方々に於ける十四年度の收購は、三萬二千九百五圓の價格に申合せ、散會した。

### 増收續きの貨物収入

#### 一月迄に四萬五千圓

#### 本年度の黒字五萬圓突破確實

平野に於ける本年度の貨物収入は、四月以降左記の如き増收を上げて、昨年十月の九千九百三十圓が、當年最高増收の増收と云はれてゐるところ、去る一月の黒字が一萬圓を突破せしは、昨紙所報の如く、蓋しこれが本年度の最高であらうと云はれるに至つた。一月までの増收は、實に四萬五千五百三十五圓で、尚ほ二、三の二ヶ月を算ずると、本年度は五萬圓を超える黒字が確實だとホク／＼と云はれる。

▲本年度各月の増收額  
四月 二七、七〇〇  
五月 一七、四七〇  
六月 三三、九〇〇  
七月 八二、二七〇  
八月 一八、〇〇〇

### 興亞の礎

#### 石城出身勇士

石城郡南の産蘭田は、十七萬八千八百五圓に達し、蠶組の盛んなところで、錦村及び川部村が其の中心をなして、近々高騰の高低常なきものと、近年までの下落から漸次衰微の傾向であつたところ、茲に三年來、糸價の好況と共に中心地が山田村方面に轉化して、蠶家の増加を見せる同地、方々に於ける十四年度の收購は、三萬二千九百五圓の價格に申合せ、散會した。

### 早天の火災頻發に 平署と警防の注意

#### 第十七區では軒毎に水桶

平市警防團では近年にない今年、早天に日頃頻發する火災が、何れも大きい損害を被りつゝある。平署と共に一般に對して「火の用心」の注意を發することになつたが、市内十七區(仲町方面)火防團では、山崎組長率先して、一日防空演習に備へる軒毎の水桶等を、各戸欠かさず、當夜から備へ付け、一方萬一に處する家庭防空隊への心構ひをも促がし、非常な緊張をもつて警戒に當つてゐる。

### 讀賣新聞の懸賞歌

#### 今夜「空の勇士」の演奏會

讀賣新聞社の懸賞歌に當選した行進曲「空の勇士」の演奏會は、同社の主催で、今日午後六時半から、平野公會堂に於て催される。陸軍省が指定した「恩賜の煙草」の「空の勇士」の歌は、各學生やレコードにも歌はれてゐる著名なもので、第一發及び市聯合青年團、アラバンドの贊助出演に、イチヂク、専風、歌手の合唱、歌ひ方指導その他、歌曲、舞臺及び同社の「ニュース」映畫等左記がある。入場料は要せず、稀有の盛會を見ることであらう。

### 農試分場の 農事特別傳習

農試分場は、今日(十五日)同場講義室で、矢ヶ崎技手から、春播種栽培法について、説かれ、改善について、本場長の傳習が、あり終つて、受習者への修得證書の授與式がある筈である。

### 嚴冬の滿洲視察より

#### 第四信の二 志田生

見ればそれは汚れた前襟布、姿がニコ／＼しながら門の隅にぐるぐるまわつた生れて間もない赤ん坊を抱いて寝てゐる三、十前後の婦人がゐたのであつた。室の一隅に戸棚があつて、牡丹の花の綺麗な装飾が施された上、その上の方に兵隊さんの寫眞が飾つてある。此所には滿洲國の山脈、雲煙の間に遠く横はる東南に朝鮮の山脈、碧瑠璃の如く遠望され、東北には、滿洲の境界をなすと云ふ連岳長蛇の如く、續いてゐる。渾春の街は、マツチ箱をならべたやうに小さく見られる、何んと云ふ良い眺めに、此の家を辭したとき、老望であらう。

### 戦地の便り

#### 生残る者の喜びに 戦死傷者のことが

#### 若松 武

戦死、何時もながら御慰霊の御書面に接する喜びを、戦友に對し郷土の誇りと致して居ります。意欲ある紀元二千六百年を戦地に於て迎へました四年目の陣中新年、轉た感慨なしに居られないものがあつた。應答して、事變當初、戦に参加し祖國の天運軍の中に己の小きな三十年の生涯を生かすべく奮闘してゐるうち何時しか三十一才となり三十二才も終り、今また新むき三十一才を迎へながら、國家の理想を此の目で、この身で、体

### 貨車の不廻り

#### 勞力の不足

石城郡勿來驛及び植田驛積込の炭は、軍需景氣に乗じて、最近著しき増加を見せ、大小十數載の新炭車を數えられ、變前に比し約二倍に達してゐる。同時に、出炭量は三倍に上り、尚ほ各體共に勞働者の不足と貨車の不廻り、トラックもガソリンの配給を思ふ様に受けられないのを、憤りとしてゐる。

### 自肅賣出し協議

#### 靜岡火災へ十圓

石城郡植田管内經濟警察委員協議會は、去る一日同署に開催、舊年末首に於ける自肅賣出しにつき申合せをなす。

### 内郷の警防團長

#### 半島人の赤誠

石城郡内郷村警防團長は、團長の長沼三郎氏が、此の程退職したので、後任に佐藤三平氏を決定した。

### 殺すぞと脅迫

#### 木炭不足を種に詐欺

石城郡下小川村の芝原五平、宇野義重(義)は、近來の木炭不足を奇貨とし、昨年末平野前旅館開館方に泊り、市内白銀町の石川木炭店を呼び寄せ、木炭の所持を送るからと前金に三百八十圓を詐欺せざるを、手初めに其料理店に於ても同様手段で二十圓更に木炭商某から八十五圓計四百八十五圓の詐欺を發覺し、平署に檢舉され、検事局へ送られる。

事務家諸兄に  
ムツリニペン  
國産品に斯げないペンがあるのは喜ばしいこと、  
錆びない、書きよい、耐  
ちよい、三拍子揃つた  
ペンです。  
文魁文堂  
電話 313 番

# 産業方面

## 難件を突破し 増産目標へ

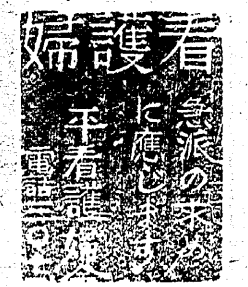
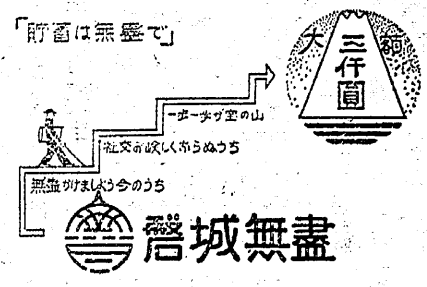
(2) 農山漁村民にかけられた大期待  
反響収量の増加主義はすでに十四年度に於て試験済みであり、一般の見るところでは満洲の如く粗放な農業地帯であるなら技術的改善によつて一反歩當りの収量の増加が期待出来るやうが内地水田の様にその経営が高度化してゐるところに於ては増産可能な程度が極めて低く今後相当修正を要するものと見られてゐたが新年度の計画に於てはこの方針を依然として堅持してゐるのであるがたゞこのほかに約七百萬圓を投じて四萬餘町歩の水田を増加するの計画を併用してゐるだけである。

十四年度の内地の米生産高が六千五百二十八萬石であつた點から見れば、肥料その他の生産資材の不足になやむ十五年度の生産が七千二百萬石を確保すると云ふことは相當な難事といはねばなるまい。

【小麦】十四年度の生産高は一千二百一十一萬餘石であつたが十五年度には基準数量九百五十萬石、増産數三百五十萬石、合計一千三百萬石を生産目標と決定したから前年に比して一百万石の増加であつてさしたる難事とは考へられなからがこれとても天候次第と云へやう。

なほ増産の方針は米の場合と同じ様に反響収量の増加により百十二萬八千石、作付反別の擴張により二百三十七萬二千石をあげる豫

定である。



大小の御宴會にホール  
御家族の御同伴に御座敷  
いつも材料を吟味して居ります

## マルトモ食堂

平市四丁目電話二二三番

助腺氣管支・關節・神経痛・肺炎・ロイマチス  
...扁桃腺・中耳炎・骨髄痛・腰痛・痔疾に...

## 生公華

九十五錠  
二四二錠  
四

山野邊藥局

## カバコン洋品類

平市田町 電話五二三番  
**高久病院**  
院長 醫學士 高久忠

内科、小兒科  
外科、花柳病科  
耳鼻咽喉科  
レントゲン科

平市田町 電話五二三番  
**眞砂屋** (前驛、市平、り通道新)  
(話電) 屋砂眞 (前驛、市平、り通道新)

雨に露に晒す程 大に火を焚く

## 朝日

煙草は 健胃は

金屋商店

食 事。 喫 茶。 酒 場 を 兼 ね た。

## レストラン サロン

平市銀座街

電話五九二番

御婚禮着付  
和洋結髪  
貸衣裳、貸か  
つら を 御利  
用下さい

## 手塚美容院

何卒御用命の程を

平市新田町

附屬産院 新設  
妊産婦入院隨意

## 木村病院

産婦人科

電話 新一六四番

國民精神總動員  
日本國民必見の報...

内閣情報部發行

## 寫真週報

1部10セン

お取次致して居ります

西村屋藥局

新時代の要求

附屬事業に等外看護婦を特設いたし  
皆様の御用命へ身元確實なる婦人を  
派出致します。

## 平看護婦會

電話三〇七

御手不足の御家庭  
輕い御病人の付添  
妊産婦の御家庭

診療科目

- 一、齒科一般
- 保存科、補綴科、機械工科、齒列矯正科、小兒科、齒槽膿漏科、
- 一、口腔外科
- 一、レントゲン科

平市田町(松月堂向ヒ)

## 中野齒科醫院

電話五〇九番

院長 日本齒科醫學士 中野慈次  
日本醫學士 鹽谷伍郎  
主任 佐藤重義